昭和60年度 一般会計
9億8,430万円（前年対比△1.2%）でスタート

国民健康保険特別会計　2億　162万1千円
老人保健特別会計　1億7,468万1千円
簡易水道特別会計　1億4,332万3千円

昭和六十年度の各会計予算は三月十五日第一回定例村議会で決まりました。

本年度の一般会計予算の規模は、九億八千四百三十万円で前年対比一千百九十万円、一・二%の減となっております。

以下は、各会計予算のあらましです。

歳入

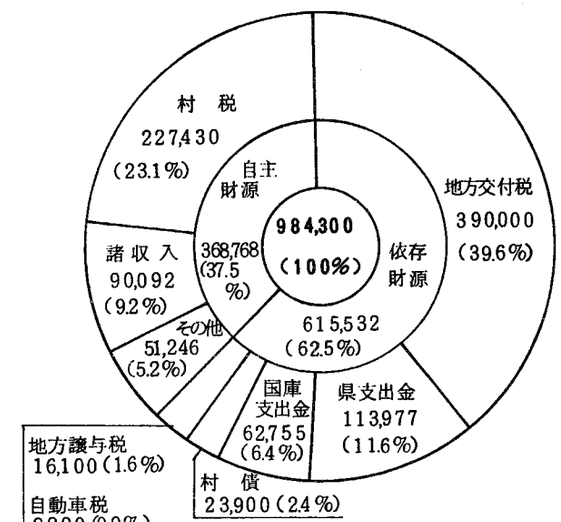
村税は二億二千七百四十三万円を見込み、前年対比十・二%の増加で、これは評価替えによるものと不均一課税を行っていたものの一部が百%課税等になったものです。

地方交付税は、三億九千万円を見込み、構成比三十九・六%となっています。

国庫支出金は六千二百七十五万五千円で、保育園措置費負担金や、モデル事業の補助金が主なものとなっています。

県支出金では一億一千三百九十七万七千円で、同じく新農業構造改善事業、モデル事業の補助金が主なものです。

村債は二千三百九十万円を計上し、内容はモデル事業債一千三百十万円、消防施設整備事業債三百六十万円となっています。



歳出

歳出の消費的経費としては人件費二億九千四百七十九万八千円、物件費一億三千七百五十四万二千円、補助費等九千七百九十四万円、扶助費、維持補修費で二千六百八十三万二千円で、五十六・五%の構成比となっています。

投資的経費として、農村総合整備モデル事業、新農業構造改善事業、村単独土木事業、消防施設整備事業等の普通建設事業費で二億四百五十六万三千円、構成比二十・八%、その他、公債費、貸付金、繰出金等で二億二千二百六十二万五千円、構成比二十二・七%となっています。

歳出の主な概要は次のとおりです。

議会費　四〇、二一〇千円

総務費　一二八、三七〇千円
広報発行費　一、五〇四千円
都市ガス加入資金利子補給　五、七七五千円
交通安全対策費　一、九六一千円
村長選挙費　一、二七〇千円

民生費　一一五、八三九千円
敬老会関係費　八九二千円
老人クラブ補助　六〇九千円
老人世帯牛乳代　七〇九千円
児童手当　七、四八二千円
月寿荘関係費六、〇七五千円
保育園関係費　六二、四五〇千円

衛生費　五八、九七六千円
老人保健特別会計繰出金　八、九七三千円

白根衛生センター組合負担金　二二、二〇八千円
環境衛生対策事業補助　一、七〇七千円
循環器等対策事業　九、二四三千円
母子保健事業費　二、四一四千円

農林水産業費　二二九、二七四千円
新潟米生産推進対策事業費　一、〇七一千円
園芸振興対策費　一、三六八千円
家畜伝染病予防対策費　一、一五五千円
水田利用再編対策費　六、四三八千円
新農業構造改善事業費　六四、四九五千円
農村総合整備モデル事業費　八五、五六二千円

商工費　九二、八八三千円
商工会運営補助金　三、五〇〇千円
地方産業育成資金貸付金　三八、〇〇〇千円
中小企業近代化資金貸付金　二五、〇〇〇千円

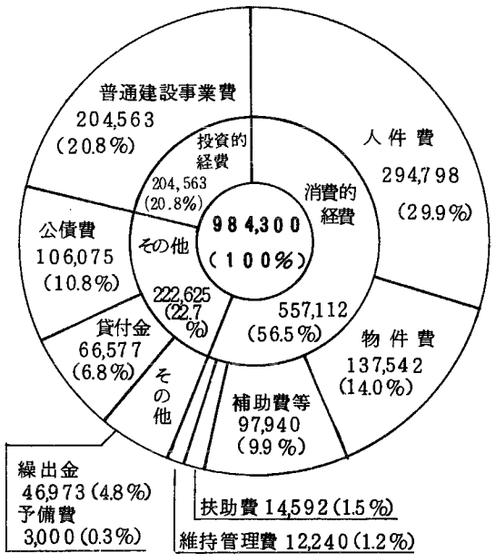
土木費　五二、七三九千円
村道路台帳整備費　一、〇〇〇千円
除排雪費　四、二八〇千円
敷砂利等　一、五〇〇千円
土木事業費二〇、八〇〇千円

消防費　四五、九五四千円
防火水槽等工事費　五、五〇〇千円
白根地区消防事務組合負担金　二九、二七六千円

教育費　一一一、二五一千円
奨学金貸付金二、〇一六千円
小・中学校施設改善費　二、〇七三千円
社会教育費　五、〇二〇千円
保健体育施設費　三、四三〇千円

公債費　一〇五、八〇四千円
償還元金　六八、三七九千円
償還利子　三七、三〇五千円

予備費　三、〇〇〇千円

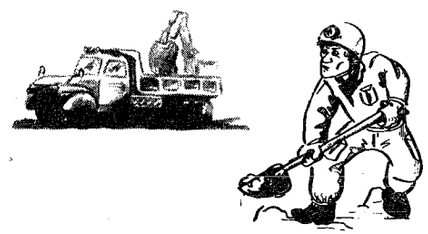


国民健康保険特別会計

総額二億百六十二万一千円

国民健康保険特別会計は昨年十月からの医療制度の改正によって、国保制度に退職者医療制度の創設と高額療養費制度の改正されたことを見込み、予算総額二億百六十二万一千円で前年比七%増の予算となっております。

ついては、今年度の医療費を五%増で見込み、その中心となる保険給付費二億一千九百九十一万一千円で歳出予算の約六十%も占めます。

そのうち退職者分の給付費を昨年の十～十二月分の医療費実績で一千八百三十九万七千円を見込みました。また、助産費も十万円を十五万円に改正いたしました。

次に歳出の三十二%を占める老人保健拠出金六千五百三十万七千で年々お年寄りの人